

3 月 1 3 日 ( 金 )

( 第 3 日 目 )

## 平成27年第1回南関町議会定例会（第3号）

平成27年3月13日

午前10時00分開議

於 議 場

### 1. 議事日程

開会宣告

議事日程の報告

日程第1 一般質問について（2名）

① 6番議員 ② 2番議員

### 2. 出席議員は次のとおりである。（12名）

1番 立山比呂志君

2番 杉村博明君

3番 井下忠俊君

4番 立山秀喜君

5番 境田敏高君

6番 打越潤一君

7番 鶴地仁君

8番 田口浩君

9番 山口純子君

10番 本田真二君

11番 橋永芳政君

12番 酒見喬君

### 3. 欠席議員なし

### 4. 地方自治法第121条の規定により、説明のため出席した者の職氏名（12名）

町 長 佐藤安彦君 住民課長 菅原力君

副町長 本山一男君 福祉課長 北原宏春君

教育長 大里耕守君 経済課長 西田裕幸君

総務課長 永松泰子君 建設課長 古澤平君

会計管理者 木村浩二君 教育課長 島崎演君

まちづくり推進課長 大木義隆君 延寿荘長 福井隆一君

### 5. 職務のため会議に出席した事務局職員の職氏名（2名）

議会事務局長 寺本一誠君 書記 坂口智美君

開議 午前10時00分

-----○-----

○議長（酒見 喬君） 起立、礼、おはようございます。

ただいまから本日の会議を開きます。

議事日程は、お手元に配付のとおりです。

-----○-----

#### 日程第1 一般質問

○議長（酒見 喬君） 日程第1、一般質問を行います。

発言の通告があつていますので、順次、発言を許します。

6番議員の質問を許します。6番議員。

○6番議員（打越潤一君） おはようございます。一般質問も今日で3日目に入りました。私の一般質問を行いたいと思います。6番議員の打越でございます。

今回の質問は、まち・ひと・しごとと創生長期ビジョンと総合戦略の全体像で、長期ビジョンと総合戦略2015年から2019年度の5カ年間。それと中長期展望の2060年を視野に人口減少問題の克服、2060年に1億人程度の人口下降、人口減少の歯止め、国民希望出生率が1.8人ですかね。それと東京一極集中の是正、それと成長力の確保2050年代に実質GDP成長率1.5から2%程度維持を目標として、国が昨年12月27日に閣議決定し、今年1月9日に地方創生先行型の交付金を含む平成26年度補正予算を閣議決定し、地方創生に関する施策を盛り込んだ平成27年度当初予算も閣議決定されたところです。

緊急的取り組みで経済対策まち・ひと・しごと創生関連として、平成26年度補正予算で、国は生活支援地方創生へ交付金4,200億円。内訳として地域消費喚起・生活支援型に2,500億円、地方創生先行型に1,700億円計上しました。創生法で都道府県及び市町村には地方版の総合戦略を策定することを求めています。遅くとも27年度中に総合戦略を策定することになっています。これは義務となっております。

これを受けて南関町での26年度補正予算、27年度予算は何を要望しますか。11日提案された26年度補正予算については、昨日一般質問された5番、境田議員と重複すると思いますが、再確認のためお尋ねします。

質問事項1番として、地方創生に伴う町の要望は。①町の活性化で何を要望しますか。②南関インターチェンジを持つ優位性をどう生かすかを町長にお尋ねします。

質問事項2番は、去る1月25日に柳川市で行われた詩人北原白秋生誕130年祭、白秋サミットに参加しての意気込みに付いて。①南関町に生かす方策は見えましたか。②参加市町のパネルディスカッションで得たものはどうであったか、町長、

教育長にお尋ねします。

あとの質問は自席から行います。よろしくお願いいたします。

○議長（酒見 喬君） 6番議員の質問に対する答弁を求めます。町長。

○町長（佐藤安彦君） 改めておはようございます。6番、打越議員の地方創生に伴う町の要望はとの御質問にお答えいたします。

昨日、境田議員の御質問にもお答えしたところでございますが、町は国や県のまち・ひと・しごと創生総合戦略を勘案して、町の区域の実情に応じたまち・ひと・しごと創生に関する施策についての基本的な計画を定めるよう努めなければならないとされております。また、町のまち・ひと・しごと創生総合戦略は、地域におけるまち・ひと・しごと創生に関する目標、町が講ずるべき施策に関する基本的方向について定めることとすると規定をしております、町はまち・ひと・しごと創生総合戦略を定めたり変更したりしたときは遅滞なく公表することと努めるように定められております。

中でも施策に盛り込むべきものは一つ目に仕事づくり、二つ目に人の流れ、三つ目に結婚、出産、子育て、四つ目にまちづくりに係る各分野を幅広くカバーすることが大切であり、南関町のような中山間地域では人口の減少を防ぎ、また仕事づくりの観点から定住、結婚、子育て、また企業の誘致を含めて農林業や観光に関する施策を重点的に盛り込んでよいのではないかと考えているところでございます。

また、政策には5原則があり、自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視の趣旨を踏まえて策定する必要があります。

このような中で、町の地域の自主性を発揮した地方単独事業を計画的に盛り込みたいと考えているところでございます。

次に、インターチェンジの利活用につきましては、必要な原材料の調達、製品の輸送など商工業の発展に寄与することはもちろん、高速道路インターチェンジの付近には多くの生産施設、商業施設、また物流施設が立地する可能性もあります。また、高速道路によって距離や時間が縮まり、観光資源、つまり町が実施する祭りやその他文化財などを活用した事業に対して、行動範囲が広がった、都市部の住民を迎え入れることができるのも魅力であると思います。

インターを持つ南関町の強みであり、企業の誘致や観光客入込数の増加をねらった戦略を立てる上では重要なものであると捕らえているところでございます。

なお、地域の特色を生かした戦略を行っていく上でも重要な拠点となりますので、十分なPR等も行っていきたいと考えております。

また、まち・ひと・しごと創生事業の一つである企業の本社移転の促進や、中核企業の支援、地域の有力産業の育成などに今後もこの地の利を大いに活用して、企

業の誘致や起業支援を促進していきたいと考えております。

次に、柳川市の白秋誕生祭に参加しての意気込みについての御質問ですが、今回、柳川市では柳川市合併10周年記念に合わせ、北原白秋生誕130周年を記念し、白秋サミットを白秋の誕生日である1月25日に開催されました。

この催しには白秋のゆかりの地ということで神奈川県の三浦市、小田原市、そして天草市と南関町が招待され、それぞれの市町がパネルディスカッションのパネラーとして参加させていただきました。白秋顕彰としては南関町からは大里教育長が文化協会を代表し、その他4団体の皆さまとともに発表されました。また、南関第一小学校の6年生も柳川市矢留小学校の児童とともに山田耕作作曲、北原白秋作詞の校歌を披露し、前日には北原白秋の生家を見学し、白秋の写真や歌などについて詳しく説明を受けました。今回、柳川市の金子市長は、職員に対してもおもてなしの心をとということを徹底されており、特に心配りのある案内を体験させていただきました。また、地元の方々も白秋の出身地ということでコーラスグループの活動も盛んであり、語られる思いの深さを熱く感じたところであります。

柳川市ではこのような催しが今後続くのかは未定ということでありましたが、日常生活や年間の行事等で白秋作品がうたい続けられると私も感じたところであります。

本町でも、長きにわたる白秋生誕短歌会や御茶屋跡での白秋生誕祭等を盛り上げながら白秋の顕彰を行っていきたく思いますし、柳川市ともこれまで以上に連携を図る必要があり、作品の交流も申し入れておりますので、南関町民の皆さまにも披露しながら白秋を通じて柳川市との友好関係を築いていきたいと考えているところでございます。

以上、お答えしまして、教育長からも答弁をいただき、以後の質問につきましては自席または担当課長より答弁させていただきます。

○議長（酒見 喬君） 教育長。

○教育長（大里耕守君） おはようございます。6番、打越議員の質問の2番目、柳川の白秋生誕祭に参加しての意気込みについてのお尋ねです。

ただいま町長から詳しく述べていただきましたけれども、平成27年1月25日、日曜日でしたが、この日は北原白秋の誕生日、そして生誕130周年を迎えたということで、実は南関町でも同日ですね、午前中に第39回北原白秋生誕記念短歌会を町教育委員会と短歌会の共催の形で実施をしてもらっておるところです。午後には南関御茶屋跡で白秋生誕祭が催され、熊本大学の元教授であった中村青史先生の講演、それから童謡館の館長をしておられますが、日本国際童謡館館長の大庭照子さんをゲストに迎えての白秋メロディーの披露。また、第一小学校の子どもたちに

よる校歌の披露もあったところです。

町でも白秋を顕彰するイベントは毎年続いているところではありますが、折からちよūd重なってしまいましたけれども、柳川市で先ほど町長から述べられた白秋サミット、これがその冊子だったわけです。白秋の晩年、目が見えられなくなったところの写真を柳川市の金子市長が選んで表紙にしたということですが、こういふことで先ほどありましたように前日から2日間にわたるイベントとして、柳川市は詩聖（しせい）北原白秋先生ということですね、非常に大事にしながらまちづくりを展開されておりました。

川下りする中で水郷柳河というのが国の指定史跡として今文化庁のほうからもやがて指定されますということでありましたけれども、その川下りの途中で整備された白秋の作品の数々を見させていただきました、歌碑の数々。そういうことで我がふるさと、白秋の母の里南関という大きな垂れ幕をつくっていただいておりますけれども、こういったことも見習わなければいけないかなと勉強させられたところでした。

今後、白秋を顕彰するために南関町としてどのように考えていかなければならないかということですが、二つあると思います。一つは白秋の母の里の生家を保存していくこと。そして保存ばかりではなくて活用すること。これをどのようにするかというのは今後の大きな課題であります。

先だって町長と一緒に白秋の生家である石井家を訪ねて、快く今回、おもてなしを受けたところで今後話がうまく進めば本当に保存の方向で進めるかなというふう考えたところです。

もう1点が、白秋が生家のほうの思いもあります。石井家の思いもありますが、白秋先生たくさんの詩や歌をつくっておられるので、是非町内に歌碑をもっと増やして、そして歌碑めぐりを観光コースにされたらいかがかという提案もいただきましたので、そのようなことで現在のところですね、3基ほど新たに今見積もりだけはとっているところですが、徐々に今後そのようなことで白秋先生の歌碑を建立できればというふう考えています。

三つを申し上げますと、まずは元祖そうめんですね。猿渡家が元祖の長き白糸とうたわれた元祖の家ですけれども、あそこに「掛けなめて玉名乙女がこきのばす翁そうめんは長き白糸」とこの歌碑をですね、まず1基。それから豊前街道のいわゆる国境石から石井家に向かう途中で町有地があります。そこに「この道」の童謡歌詞。それから就学前の子ども・子育て支援センターもあるこどもの丘には「ゆりかごのうた」の童謡ですね、歌詞として。このようなことで今、見積もりを3基ほど計画させてもらってますが、まだ予算が実施にいくためにはそれだけの財政措置

が必要なわけです。この後、そのような童謡やあるいはたくさんの方の歌詞の中から南関にまつわる20以上の短歌がつけられておりますので、こういったことも今後顕彰していくのに大事なかなと思います。

あとまた具体的な質問は自席よりお答えさせていただきたいと思います。

○議長（酒見 喬君） 6番議員。

○6番議員（打越潤一君） それでは昨日、境田議員のほうから一般質問がありましたけども、それと重複するかと思いますが、確認のためにもう一度振り返ってもらいたいと思います。

26年度の補正予算で歳入が総務の国庫負担金として地域住民生活等緊急支援交付金に5,228万4,000円が提案されております。内訳としましてですね、地域消費喚起・生活支援型事業に2,257万2,000円、地方創生先行型事業に2,971万2,000円が提案されました。この数字で私が書いとる分で間違いなかどうかをちょっと御確認します。

○議長（酒見 喬君） 総務課長。

○総務課長（永松泰子君） 今、打越議員がおっしゃった数字に間違いございません。これが交付の限度額とされているものでございます。

○議長（酒見 喬君） 6番議員。

○6番議員（打越潤一君） これに対応する歳出としてですね、地域消費喚起・生活支援型事業に2,257万2,000円、南関プレミアム付共通商品券事業補助金が2,257万2,000円同額を、全額を繰越明許費で使うと、そういうことでよろしいですか。

○議長（酒見 喬君） 総務課長。

○総務課長（永松泰子君） おっしゃるとおりでございます。限度額いっぱいいっぱい予算を組みまして、それを次年度に繰り越すということにしております。

○議長（酒見 喬君） 6番議員。

○6番議員（打越潤一君） 一応この金額を南関町商工会に委託すると。商品券の発行、あと図案等ですかね、図柄等っていいですか、そういうのも商工会に全額一任するというでよろしいのですか。

○議長（酒見 喬君） まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（大木義隆君） この商品券の業務自体は商工会のほうに委託をするということで、図柄等につきましてはやはり提案があったものを町のほうも見せていただくということになるかと思いますが。

以上です。

○議長（酒見 喬君） 6番議員。

- 6番議員（打越潤一君） 一応南関町がトッパ丸という分をPRしておりますので、  
図案等にトッパ丸を入れて商品券に印刷してもらい、そこあたりは要望は町のほう  
からでもしていいんじゃないでしょうか。ちょっとお尋ねします。
- 議長（酒見 喬君） まちづくり推進課長。
- まちづくり推進課長（大木義隆君） 町のイメージキャラクターでございますので、  
当然そのへんは入ってくるものというふうを考えておるところです。
- 議長（酒見 喬君） 6番議員。
- 6番議員（打越潤一君） 昨日境田議員から質問がありましたが、この分がちょっと  
聞き逃しましたので、商品券が1枚何千円か。何枚発行するかを再確認のためまた  
お尋ねします。
- 議長（酒見 喬君） まちづくり推進課長。
- まちづくり推進課長（大木義隆君） 1枚1,000円の券を12枚綴りで、1万円  
として販売し、1万綴り発行することといたしております。
- 議長（酒見 喬君） 6番議員。
- 6番議員（打越潤一君） この金額で私が頭が悪いから計算もしきらんばってんが、  
1,000円掛けるの12枚綴りっていうと1万2,000円ですかね。1万2,0  
00円ば1万円として発行すると。まあこれ一応2,257万2,000円やったで  
すよね。この発行する印刷とかなんかはもう経費の中に入りますので、大体2,0  
00万円相当ぐらいの金額の商品券を発行されるということですかね。何万円から  
あつとですかね。
- 議長（酒見 喬君） まちづくり推進課長。
- まちづくり推進課長（大木義隆君） 商品券自体は1億2,000万円になります。  
あと257万2,000円が印刷費などの事務費。印刷費で相当かかりますし、あ  
と換金手数料、それからPR費用等が必要となりますのでその経費に充てるという  
こととなります。プレミアム分は2,000万、それは交付金の対象ということに  
なります。
- 議長（酒見 喬君） 6番議員。
- 6番議員（打越潤一君） これ1億2,000万っていう数字はどこからきとつとで  
すかね。
- 議長（酒見 喬君） まちづくり推進課長。
- まちづくり推進課長（大木義隆君） もともと2,200万程度の交付金ということ  
で、それならば20%のプレミアム部分とすれば1億円の収入を得るということか  
ら20%付けて1億2,000万分の発行ということで計画をいたしたところでは  
す。
- 議長（酒見 喬君） 6番議員。



○6番議員（打越潤一君） 1回目を6月をめどに発行、2回目は決定してないという  
ようなことですが、議案成立後早急に取り組まないで6月まではもうあと3カ月ち  
よっとぐらいしかないとはいいたいですね。待たないで時間は経過しますので議員さんあ  
たりの協力を得て、成立後早急に取り組まないで繰り越し事業になりますので、来  
年の3月までは使ってしまうかないかというふうなことになるかと思っておりますので、  
この分は早急に取り組みをお願いいたします。

それとあと2月の人口が1万448人、世帯数が4,281戸というようなこと  
で南関町の人口世帯ですと。それでこれは世帯にある程度振り分けるのか、あ  
るいは希望者に購入してもらおうのか、使用期間が5カ月というようなことでどのよ  
うな形で考えられておられるのかお尋ねします。

○議長（酒見 喬君） まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（大木義隆君） 地域で使える商品券ですので、やはり購入を希  
望される方に販売ということになるかと思っております。ただ、集中する可能性もありま  
すので、販売方法につきましては1カ所で販売するのか、それとも分散して販売す  
るのか、そのあたりはまだ決定はしていないということでございます。限度額につ  
きましても昨日お答えしましたように一人当たり5万円になるのか、10万円にな  
るのか、そのへんも検討していきたいというふうに考えております。

○議長（酒見 喬君） 6番議員。

○6番議員（打越潤一君） 南関町町内は昨日は200事業者というようなことでちよ  
っとお答えされてみたいですけど、商品券の使い道は一番身近なものか、あるい  
は南関の事業者として考えるならば、鎌とか、鍬とか、そういうあたりも買うふう  
なちょっと幅広くこの商品券の対象としては考えられとるというようなことで理解  
してよかですかね。

○議長（酒見 喬君） まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（大木義隆君） 商品券の用途としましては物の販売、それから  
役務の提供ということまで含めて考えております。今のところ販売だけでしたらそ  
れだけの業者さんはおられないと思いますが、できるだけ多くの事業者の方に登録  
をいただき、活用の選択肢を増やしていただきたいというふうに考えているところ  
です。

以上です。

○議長（酒見 喬君） 6番議員。

○6番議員（打越潤一君） 一応南関町も利用者数はそんなに多くないですから、事業者  
に行き渡るように登録してもらおうと、事業者のほうから希望して登録してもらわ  
んといけないですが、できるだけ全面的に行き渡るような配慮をお願いしたいと思

ます。

次に、地方創生先行型事業に歳入として2,971万2,000円、歳出に総務費のほうから総合戦略策定支援業務委託料972万円。内訳として地方人口ビジョン策定支援として405万円、総合戦略策定支援に567万円について、どこに委託するかは未定ということですが、これも早めに取りかからなければできないものです。ある程度の目安っていうか、そこあたりはまだお考えにはなっておらない。全然未定ってようなことですか。ある程度どこあたりまで考えとるっていうことはありませんか。

○議長（酒見 喬君） 総務課長。

○総務課長（永松泰子君） 業者を選定する際にはプロポーザルの方法によりたいというふうに考えておりますので、今のところはどこにするかというようなことは一切ございません。

○議長（酒見 喬君） 6番議員。

○6番議員（打越潤一君） 乗合タクシー運行委託料791万3,000円、これはもう南関には事業者が一つしかありませんので当然そこにされるってような昨日はお答えされたようですが、それで間違いありませんか。

○議長（酒見 喬君） 総務課長。

○総務課長（永松泰子君） 南関には1社しかございませんので、そこをお願いをしようと考えております。

○議長（酒見 喬君） 6番議員。

○6番議員（打越潤一君） 運行管理システム導入委託料735万5,000円、これはカーナビというようにお答えをいただいていたようですが、これで間違いありませんか。

○議長（酒見 喬君） 総務課長。

○総務課長（永松泰子君） 後で御説明をするつもりでございましたが、カーナビももちろん付けますが、システムを役場の中にパソコンを置きまして、その中には町内の地図を入れ込みます。そしてそのルート、それから時間設定等ができるような形にいたします。そのことによりまして、もちろん道が分かりやすく時間の設定も誤りなく、それからオペレーターが電話だけの連絡でいきますとなかなか拾い忘れですか、ルートの選択等にミスがあったりすることも考えられますので、このシステムを導入するというふうに考えております。

○議長（酒見 喬君） 6番議員。

○6番議員（打越潤一君） 運行管理システムの保守委託料128万8,000円、これはNTT西日本、間違いございませんね。

次に、備品購入乗合タクシーの2台、722万4,000円、これは10人乗りワゴンタイプってようなことでお答えいただいたんですけど、このタクシーはどこに保管すつとですかね。

○議長（酒見 喬君） 総務課長。

○総務課長（永松泰子君） 車2台を役場で購入いたしまして、業務委託をその事業者をお願いをするものですから、その事業者の車庫に貸し出しをするという形になります。

○議長（酒見 喬君） 6番議員。

○6番議員（打越潤一君） 今度の予算で役場の車庫が取り壊すようになっておりましたので、ちょっとそこを心配しておりました。はい、分かりました。

続きましてですね、観光振興費で動画作成委託料237万5,000円、内訳としていろいろ3国語対応、英語、中国語、韓国語ですかね。それに90万円とか、動画撮影用の13万5,000円。これ動画撮影用は幾らやったつですかね。

○議長（酒見 喬君） まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（大木義隆君） この事業につきましては、平成26年度から取り組んでおりますが、26年度の途中から撮影を開始しております。あと1回、関所マラソンについての撮影が残っております。その撮影が13万5,000円ということになっております。あと、その後の編集作業は27年度で編集しWebに流すもの、それから町内で放送するもの、ホームページに載せて皆さんに見ていただくもの等の編集作業を27年度で計画をいたしておりましたが、今回この交付金が出たということで、これに乗せて動画制作を前倒ししたということでございます。その中で観光についての多言語化ということにつきまして対応するためにこの英語、中国語、韓国語、そのあたりまで対応したいというふうに考えて今回、予算を計上しているところです。

○議長（酒見 喬君） 6番議員に申し上げますが、この予算の詳細についてはまた後日、全協のほうで説明がございますので、今回は一般質問は大まかなところをお願いします。

○6番議員（打越潤一君） 一応ビデオとか何とかあつておりましたのでですね、動画撮影あたりの分がこれに計上されとつたから今までの分はどんななつとつたかなというような短歌会あたりもですね、ビデオあたりをされとつたもんだけですね、どういう形かなと思ってました。

それでは1番目の最後なんですけど、南関インターを持つ優位性っていうような町長が詳しく述べていただきました。南関町は当然最初に考えるのは、熊本県に入るのは南関町がインターを持ってるっていうような一番重要ポイントを持っておりま

すので、先ほど町長が詳しく述べていただきましたのでその方針に向かって南関インターを優位に活用お願いしたいと思います。

続きまして、2番目にいきます。先般1月25日だったですかね。白秋生誕祭が柳川で行われて教育長と町長が参加されたようで、インターネットのホームページで柳川市の分を見ましても、5市町のサミットが有意義であった。また柳川市長が「白秋先生が各地に残した文化の種が根を下ろし、市民の手で特色ある豊かな地域文化が育まれた。改めて偉業を見つめ直し、交流の輪を広げる機会としたい」とサミット後に述べられておったようです。

町長は今、サミットの分で述べられておりませんでした。佐藤町長は柳川と南関を結ぶナイトハイクを実施したいというようなことはこのインターネットに載っておりまして。それでそこあたりのこの発言に至った経緯をちょっとお願いしたいと思います。

○議長（酒見 喬君） 町長。

○町長（佐藤安彦君） パネルディスカッションの中でですね、私、ナイトハイクっていう表現はしておりましたけれども、といいますのはですね、2000年、2001年のときにですね、GET21ということで新世紀を迎えるときにGET21の催しで柳川の白秋生家から南関町までのナイトハイクをしました。これは小学生から大人の方まで参加していただいてですね、夜から朝にかけて行った事業でありますけれども、そういった事業ができないものかなっていうことで柳川市長ともお話しておりましたものですから提案したわけでありまして、ただ、これから今お話し生かしていきたいと思っておりますけれども、ナイトハイクっていいですか、今ウォーキングが盛んになっておりますので、柳川と南関町のそういった白秋のつながりを生かしてですね、夜に限らずウォーキングっていうか、その柳川南関をつなぐような白秋つながりで、そういった動きができないかなっていうことでそういったことを提案したものであります。

○議長（酒見 喬君） 6番議員。

○6番議員（打越潤一君） 最初の南関町から始まって柳川とほかの白秋にゆかりのある市、遠くは神奈川県の小田原市、三浦市ですかね。熊本から天草市。小田原市っていうと白秋は童謡創作に励んだところ、三浦市は白秋の再起・城ヶ島の雨の舞台となった市であるところちょっとホームページに乗ってありました。天草市が青春時代に与謝野鉄幹らと行った五足の靴の舞台となるところということで本当こういう首長が寄って、それぞれつながりをもってですね、将来を語られたというようなことは大いに意義があったんじゃないかなと思うっております。これを糧に町長が思う南関町づくりに励んでもらいたいと思います。

教育長のほうはもう柳川市のほうの白秋顕彰の取り組みに文化協会長として参加されておったということで、私が同日25日の日に短歌会の映像、教育課長も出席、副町長も出席いただいておりますが、50首の添削、歌人協会の塚本諄先生を講師に迎えてあったわけなんですけど、南関町も39回とずっと先代が北原白秋を思って短歌会をそれぞれ自分の趣味でやっておられる。こういうつながりも柳川市あたりとも同じような形でやっておられると思いますので、そういうのも生かしながらですね、まちづくりのほうに取り組んでいただきたいと思います。

一応まとめに入ります。地方創生、柳川のサミットも第一歩を踏み出したばかり、各団体、グループの参加・協力を得てしっかり地に着いた歩みをし、地域活性化に生かしてほしいと思います。

これで私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（酒見 喬君） 以上で、6番議員の一般質問は終了いたしました。

続いて、2番議員の質問を許します。2番議員。

○2番議員（杉村博明君） おはようございます。2番議員の杉村です。

私のほうから職員の給与について質問を行いたいと思います。

まず最初に、町職員の給与は県下市町村の中においてどの位置にあるか。またラスパイレス指数で100とした場合の数値はいかかなものか。また、近隣市町村と比較した場合の南関町職員の給与は妥当と思うか。また資料があれば議員の方々にも配付をお願いしたいと思います。

この後の質問については自席に着いて行いますので、よろしくをお願いします。

○総務課長（永松泰子君） 資料をお渡ししてよろしいでしょうか。

○議長（酒見 喬君） はい、どうぞ。お願いします。

（資料配付）

○議長（酒見 喬君） 2番議員の質問に対する答弁を求めます。町長。

○町長（佐藤安彦君） 2番、杉村議員の職員の給与についての御質問にお答えします。

国家公務員の給料と比較した南関町職員の給料の指数でありますラスパイレス指数についてでございますが、今お手元のほうに25年、26年度ということでそういったものお配りしたところでございます。平成21年のラスパイレス指数が90.2、平成22年の指数が90.9、この時点で45市町村中42位と熊本県内で低かったため、翌年の23年度から年齢の高い順に3年間に分けて平成24年1月1日に在職する職員を対象に在職者調整としてそれぞれ1年間の平均的な昇給となる4号級の昇給を行いました。結果として平成26年のラスパイレス指数は92.2、45市町村中39位となりまして、5年前と比較しますと2ポイントの増となっております。

しかし、玉名郡内を見ますと、和水町が95.0、長洲町が95.3、玉東町が96.3、熊本県内の市町村平均が97.3、市を除く町村平均が94.7となっておりまして、熊本県内で見ますといまだ指数としては低い状況にあります。

この状況が妥当であるかとのお尋ねですが、もう少し上位に位置することで職員の勤務意欲につながり、住民サービスの向上に資することになるのではないかと考えているところでございます。

また、今年度から従来の能力及び勤務態度の評価に加えて、これから導入する予定であります人事評価制度によりまして、職員が職務遂行に当たり発揮した能力及び業績を期末勤勉手当の支給、及び昇給、昇格に反映させ、職員のさらなる自己研鑽を踏まえ、職員の資質の向上を図りたいと考えているところでございます。

以上、お答えしまして、以後の質問につきましては自席、または担当課長より答弁させていただきます。

○議長（酒見 喬君） 2番議員。

○2番議員（杉村博明君） 今、町長のほうから答弁がありましたように、年々とラスパイレス指数のほうも若干ではありますが、上がってきている状況ではあります。しかしながら、この南関町においては近隣市町村と比べるとまだ低いということで、近隣市町村と比べた場合ですね、職員の仕事に対する意欲などもですね、損なわれがちですので、是非ラスパイレス指数を上げて、また行ってもらいたいと思います。今、町長から前向きな捉えていいかと思えますけど、答弁いただきましたけど、ただ単に給料を上げなさいということでは私はありませんので、そこを誤解なくお願いいたします。

今、町長のほうから言われましたようにですね、職員の質もあると思います。一生懸命している職員とそれなりの職員ですね、いると思います。人それぞれですのでもう時間外も付けなくてしている職員も中に入るかと思えます。一生懸命仕事をしている職員もおります、中には。中にはですね、時間外付けてただららとしている職員も中に入るかと思えます。そのへんの差を付けていって評価するなり、今後先ほど言われましたように頑張っている職員、その見極めをしっかりとしていってもらってラスを上げていってもらってですね、近隣よりもこの39位ですか。南関町の順位としてですね、これが県下の上位のほうにですね、できれば持っていく方向で、また職員の仕事に対する意欲を出すような、また近隣市町村といってもですね、郡はあれですけど、一番近いのは大牟田、玉名、そういった近隣はあるんですよ。その中での給与といっておりますと郡の中でも一番低いような状況であります。こういった状況で消費圏域でもやっぱり市内のほうに近い位置に南関町はあります。それでですね、やっぱりどうしてもこのラスを見ると県下でも低い、徐々に

ではありますけど42位から39位と若干ではありますけどですね、上がってきております。これを平均以上に上げていてもらいたいと思います。

また、職員の方々におきましてもですね、先ほど申しましたように一生懸命している職員とそれなりの職員の方がいるかと思えます。その見極めですね、先ほども申しましたようにそこをしっかりとですね、していてもらいたいと思います。

また、課長におかれましては管理職手当ももらってらっしゃることですので、そのへんの見極めも、職員の方々の見極めですね。してる職員、してない職員、また無駄に時間外してる者は早く帰す。時間が来たら無駄な電気を点けずにですね、帰す。そういった指導もしっかりとしてもらいたいと思います。

総務課長のほうからですね、この職員の勤務状況に対するどういった評価されているか、ちょっとお尋ねしますけど。

○議長（酒見 喬君） 総務課長。

○総務課長（永松泰子君） 私の評価といいますか、年に二度勤務状態を調べることをしております。評価者は各課の課長でありまして、それが第一次の審査。それから第二次の審査ということで副町長に今度は課長たちの評価をしていただいている状況でありますので、今これが通常の勤務評定といわれるものでございますが、先ほど町長が申しあげました人事評価という形になりますと、今度は成果を人事の能力の評価、それから業務の評価という二本立てで今後行うことになりますので、評価者の評価をする立場の職員の研修、それから評価を受ける職員のそれぞれの理解が必要だと思っています。

ただ、今のところ確かにおっしゃるとおり、非常に頑張っている職員がいる反面、もう少し頑張れば力が出せるのになあと、もう少し力を出してもらいたいなと思える職員がいることは事実でございます。

○議長（酒見 喬君） 2番議員。

○2番議員（杉村博明君） 町長のほうからですね、先ほど答弁がありましたようにその評価の方法として、もう少し具体的な、ちょっとお聞きしたいんですけど。よろしいですか。

○議長（酒見 喬君） 総務課長。

○総務課長（永松泰子君） 南関町のこの条例の中に入れておりますが、評価の中に勤務態度の中でございます。ちょっとお待ちください。指導力、それから勤務状況、それから企画力、そういった種類のものでございまして、大体5ポイントで評価をさせていただいているところでございます。

○議長（酒見 喬君） 2番議員。

○2番議員（杉村博明君） これは以前からありましたよね。今までそれがなかなかで

きてなかったというのが実態じゃないかと思えますけど、副町長いかがでしょうか。

○議長（酒見 喬君） 副町長。

○副町長（本山一男君） 今おっしゃるようになりますね、今までも従来からあっておりました。総務課長が申しあげましたように、所管課の職員についてはそれぞれの課長が評価し、管理職については私のほうが評価をしてそれぞれ町長のほうに報告しております、内容を見ますとやはり5段階方式でやっておりますので中にはやはり指導を要するような職員も幾人かは見受けられます。

○議長（酒見 喬君） 2番議員。

○2番議員（杉村博明君） この評価がですね、なかなか難しい面があると思います。各課長も苦勞されるかと思えます。でもですね、これは鬼になって優劣じゃないですけど、できる方、それなりにされてる方、しっかりと見極めて、給料を下げるといのはなかなか難しいですので、できる方を評価してですね、ラスのほうにつなげていってもらえればと思います。

また、職員の中で、先ほど申しましたように時間外ですね、そういったところの仕事をされてればいいですよ、しっかりとですね。中にはちょっとだらだらと、夏場は電気はそんなに使わないかと思えますけど、夏も電気は点けますよね庁舎内ですから。中にはだらだらと帰らずにいるという職員がいるかと思えます。そういった指導を是非、徹底して課長会等で徹底されて電気の無駄使いそういった指導も必要じゃないかと思えますので、そのへんをいかがでしょうか。

○議長（酒見 喬君） 総務課長。

○総務課長（永松泰子君） 時間外勤務も大分以前よりは減ってまいりました。といいますのが平常業務の延長であるものであれば時間外勤務は通常はつけないという形に原則はしております。夜の会議ですとか、どこかに行かなければならない、そのときでないとお会いができない面談ですとか、そういった場合にははっきりと時間外勤務の命令を出して、そして支払いをしているところですが、どうしてもやはり急な業務であったり、それから集中、その時期でないといけない集中する業務については若干時間外勤務の発生はしております。

○議長（酒見 喬君） 2番議員の質問の番ですが、ここで10分間休憩いたします。

-----○-----

休憩 午前11時00分

再開 午前11時10分

-----○-----

○議長（酒見 喬君） 休憩前に引き続き一般質問を行います。

2番議員の質問の番でしたので、2番議員の質問を許します。2番議員。



○2番議員（杉村博明君） 途中、間が空きましたけど、私が言うのはですね、近隣の市町村と比べて南関町が今までずっと低かった。それに対して職員の我慢じゃないですけど、職務に対する意欲が損なわれてきてるんじゃないかと。また、私が思うには最近元気がない、職員を見るとですね。これが給料が低いから元気がないんじゃないかと、全体的に何か元気がないような感じがするんですよ。そこらへんがどうも、もう少し南関町を職員として元気を出していってもらうためにも、少しでも平均まで中間順位ぐらいは確保していってほしいと思います。

そこでちょっとお聞きしますが、職員の平均年齢と給与についてお願いします。

○議長（酒見 喬君） 総務課長。

○総務課長（永松泰子君） そのラスパイレス指数を出しますときに給与実態調査というものをを行います。そのときのデータでございますが、25年の状態になりますけれども、平均42歳で平均給料が29万7,467円になっております。

○議長（酒見 喬君） 2番議員。

○2番議員（杉村博明君） ここで南関町の平均年齢が42歳。玉東とかはもう少し平均年齢は低いんじゃないですかね。南関町は高いほうですか、低いほうですか。ほかの玉名管内の比べると。

○議長（酒見 喬君） 総務課長。

○総務課長（永松泰子君） 年齢的にはそう変わりはないと思いますが、若干うちは今のところは高いと思います。年齢層の高い職員が多ございます。分布がですね。

○議長（酒見 喬君） 2番議員。

○2番議員（杉村博明君） これはもう以前から年齢は、南関町は高い方向で今まできてるかと思えます。それに対してですね、やっぱりどうしても近隣と比べると、年齢が若くて給料が高いような状況もあるかと思えます。先ほど総務課長のほうからいただきました勤務評定の基準ということと勤務評定表、この中でですね、段階的に付けられるかと思えますけど、なかなかこれは難しいと思えます。先ほども言いましたようにですね、各課長、人を評価するのはなかなか酷だと思えますけど、そのへんはですね、厳しく給料が下がるんじゃないですので、一生懸命してる人を上げなさいよと私は言いたいんです。できるだけ、先ほど何回も言いましたように熊本県でも南関町、そんなにですね、39番のいる位置じゃないと思うんですよ。できれば20番内、それぐらいまで引き上げてラスを100、まあ難しいかと思えますけど100以上に持って行って職員の意欲をかき立ててほしいと思います。

町長の意気込みとして再度聞きますけど、この職員の評価について今までと変わった分があればそのへんを答弁いただきたいと思えます。

○議長（酒見 喬君） 町長。

○町長（佐藤安彦君） 冒頭の答弁でも申し上げましたとおり、これから新しい人事評価制度を導入するということでありまして、今議員の御質問でありましたとおり、一生懸命頑張っている職員、そういった方の給与が上げられるようになっていくことで、私は本来であれば全体の職員がそうになってほしいと思いますけども、やはりそれぞれの評価の中でそういったものを認めていける方はですね、そういった認めていきたいと思えますし、いつも私も申し上げておりますけど、やっぱり職員の意識改革、議員も同じような考え方と思えますけども、その意識改革をしていかなければ役場庁舎内全体が住民に対するサービスの向上につながらないと思えますので、そういった意識改革をする中でやっぱり住民の皆さんの御意見や御要望もですね、すぐ理解できるような、そしてそれぞれの職場で、これもいつも申し上げておりますけど、職員自身が中長期的なビジョンを描けるような、そういった意欲を持っていただけるような職員になっていただきたいということを願っておりますので、そのための人事評価、そして賃金体系の見直しということであれば、それは積極的に活用していきたいというふうに考えております。

○議長（酒見 喬君） 2番議員。

○2番議員（杉村博明君） 是非ですね、この評価について、また職員の給与についてもですね、先ほど言われましたように町民の方々が納得できるような評価をして、十分いってもらいたいと思えます。ただ単に上げるんじゃないということですね、示してもらいたいと思えます。とまた説明ができるように、この給与がどのような上げ方をされるかは私は分かりませんが、是非やっていくところはやっていって、南関町がもっと元気付いて、職員が元気がないと町も元気が出ませんので職員の元気を取り戻すという形でも、これも一つの方向じゃないかと思えます。

また、最近なかなかコミュニケーションが取れなくて、上司、部下の関係がなかなか最近難しい状況になっているんじゃないかと、昔からすればですね。非常に団体行動が苦手、また個人個人で何でも行う状況が今の、全国的に見れば南関だけじゃなくてなかなか団体行動が難しいと。まとまらない、何をしてもなかなか団体で行動するのができない、そういった状況の中で、課長あたりももっと職員が、部下が一生懸命しているんであればですね、ストレスがたまらないようにそのへんを各課長さん、しっかりと部下を見ていってもらって、職員のストレス発散、方法はいろいろあるかと思えます。

私が言いたいのはちょっと分かるかと思えますので、具体的には言えませんのでそのへんはしっかりと部下をかわいがって、また褒めるところは褒めて、叱咤するところはしかって、メリハリを付けて元気な南関町、また職員が生き生きとした南関町にしていってもらいたいと思えます。

私のほうからはですね、時間はそんなに私は取らなくていい今回の質問ですけど、しっかりとですね、この評価、今後していってもらいたいと思います。また職員が元気が出るように各課長さんのほうもしっかりと部下を見て、指導していってもらいたいと思います。

また、くれぐれも言いますが無駄な残業はしないように。それとしっかりと残業のほうも付けるように。付けない職員が中に入ると思います。しっかり仕事してる分はしっかりと残業手当付けなさいと。そこらへんを言ってもらいたいと思います。ボランティアじゃありません、仕事ですからしっかりと付けるように。何か付けないほうがいいような感じにいる職員がおりますけど、仕事をする以上はですね、しっかりと残業手当も付けていってもらって結構ですので、そういった面も指導を各課長にお願いしときたいと思います。

私のほうからはこれで質問のほうを終わります。ありがとうございました。

○議長（酒見 喬君） 以上で、2番議員の一般質問は終了しました。

以上で、本日予定していました一般質問は終了しました。

-----○-----

○議長（酒見 喬君） 来週の18日は、午前10時に本会議場に御参集ください。

本日は、これにて散会します。起立、礼、御苦労さまでした。

-----○-----

散会 午前11時22分